

# 兵庫県立氷上高等学校 いじめ防止基本方針

## 1 学校の方針

校訓「開拓者精神」を具現化し、生徒の意欲を引き出す指導を実践すると共に、地域の教育資源を活用し、地域に貢献する教育の実践と人材の育成を目指す。また、部・科・学年が連携・協働し、教育効果を向上させることを重点目標とする。

さらに、地元丹波の「人材」を育成するため、地域から信頼される学校作りと教育活動を展開し、豊かな人間性と社会性を持つ生徒を育てる。

## 2 基本的な考え方

本校は、学校の活性化と同時に地域の活性化を図るため、地域にある教育資源を活用することを目標としてきた。それにより、生徒の社会性と規範意識や自己有用感を高めるとともに、いじめについては、平素より教師集団が個々の生徒たちの学校生活や家庭の状況を敏感にキャッチし、生徒の微妙な変化に対応している。そして、教職員が生徒とともに、いじめを抑止し人権を守る土壌を育み、いじめを許さない学校づくりを推進する。

## 3 いじめの防止等の指導体制、組織的対応など

### (1) 日常の指導体制

いじめ防止のため、管理職を含む担任、学年、養護教諭等の教職員に生徒指導部、教務部、キャンパスカウンセラーを加え、さらに人権教育推進委員会、特別支援教育推進委員会、教育相談委員会と連携するいじめ対応チームを設置する。また、教職員や大人が気づきにくいところでいじめが行われ、潜在化しやすいことを認識し、生徒の小さな変化を敏感に察知し、いじめを見逃さず、早期発見のために「いじめ？気づきカード」を活用する。

別紙5 いじめ？気づきカード

### (2) 未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめ防止の観点から、学校教育活動全体を通じて、いじめの防止に資するため「いじめアンケート」や「生活実態調査」など、多様な取組を体系的・計画的に行う。また、いじめ対応に係る教職員の資質能力向上を図る校内研修など、年間の指導計画を別に定める。

別紙2 年間指導計画、別紙3 いじめアンケート

### (3) いじめ発生時の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報の収集と記録、情報の共有、いじめの事実確認を行うための「いじめ対応シート」を活用し、県教育委員会、関係機関とも連携し、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を行う。いじめの解消後は、職員研修会を実施し再発防止と未然防止に努める。

別紙1 いじめ防止の指導体制、別紙4 いじめ対応シート

## 4 重大事態への対応

### (1) 重大事態とは

- ① いじめにより、生徒の生命や心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- ② いじめにより、生徒が相当期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき。
- ③ その他、生徒や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申立てがあったときは、校長が判断し、外部と連携し適切に対応する。

### (2) 重大事態への対応

校長が重大事態と判断した場合、直ちに、県教育委員会に報告するとともに、校長がリーダーシップを発揮し、学校が主体となって、いじめ対応チームに専門的知識及び経験を有する外部の専門家等を加えた組織で調査し、事態の解決にあたる。

なお、事案によっては、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力し、事態の解決に向けて対応する。

## 5 その他の事項

### (1) 点検および評価

達成目標を設定し、学期毎や年度毎に、実際の指導体制や指導計画などを点検・評価し、適切な対応ができるよう改善する。

### (2) 情報発信および情報交換

学校評議員会やPTA総会、学年や担任の懇談会、家庭訪問などあらゆる機会を利用して、保護者や地域への情報発信、情報交換に努める。